

- 問1 メソポタミア文明で使われた楔形文字を刻み込むために使用された、やわらかい素材を何という？
- 問2 孔子が理想的な政治を説いて回った、中国の争いが絶えなかった時代を何という？
- 問3 インダス文明の遺跡から出土した、文字が刻まれており現在も未解読の小さな道具を何という？
- 問4 メソポタミア文明で、粘土板に葦（あし）のペンで刻まれた記録用の文字を何という？
- 問5 儒教を説き、家族のきずなや礼儀を大切にした中国の思想家は誰？
- 問6 旧石器時代の人々が、石を打ち砕いて作った狩りや採集のための道具を何という？
- 問7 ローマ帝国において、平和と繁栄が続いた時代を何という？
- 問8 ローマ帝国の初代皇帝として、独裁政治の基礎を固めた人物は誰？
- 問9 群馬県で発見された、日本に旧石器時代から人類が住んでいたことを証明した遺跡を何という？
- 問10 イスラム教の信者が、日々の礼拝や集団での祈りのために利用する宗教施設を何という？
- 問11 日本の歴史において、大陸から青銅器などの金属器が伝わり、祭りの道具として使われるようになった時代を何という？
- 問12 黄河流域で生まれた甲骨文字をルーツとして、現在も使われている文字を何という？
- 問13 メソポタミア文明において、粘土板に刻まれるために発明された文字を何という？
- 問14 日本の旧石器時代に使われていた、石を打ち欠いてつくられた石器を何という？
- 問15 日本の倭の奴国王が、1世紀頃に使いを送って授かったとされる贈り物を何という？
- 問16 孔子の死後、彼の弟子たちが教えをまとめた書物を何という？
- 問17 古代エジプト文明で用いられ、物の形をかたどって作られた絵のような文字を何という？
- 問18 古代エジプトで石碑やパピルスへの記録に用いられた、独特な絵文字を何という？
- 問19 古代エジプト文明の発展を支えた、毎年決まった時期に氾濫して肥沃な土壌をもたらした川を何という？
- 問20 エジプト文明を発展させるきっかけとなった、アフリカ大陸を流れる川を何という？
- 問21 中国の万里の長城は、北方のどのような人々の侵入を防ぐために築かれたか？
- 問22 ムハンマドが生まれ、イスラム教を広める拠点となった、現在のサウジアラビアにある都市を何という？
- 問23 エジプト文明で使用されていた象形文字のことを何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 粘土板	この地域で豊富にとれる粘土を平らな板状にし、まだ柔らかいうちに葦（あし）の茎を削ったペンで文字を刻みました。乾燥または焼成することで硬くなり、長期間保存が可能な記録媒体として、行政や商業の取引記録などに広く活用されました。
問2	答え 春秋戦国時代	この時代には、孔子のような「諸子百家」と呼ばれる思想家たちが現れ、社会を安定させるための様々な政治理論を提唱しました。
問3	答え 印章	この印章には、牛やゾウなどの動物や、現在も解読されていない独特の文字が彫られています。粘土に押し付けて封印したり、持ち主の証明として使われたと考えられています。
問4	答え くさび形文字	くさび形文字は、柔らかい粘土板の上に、先をとがらせた葦（あし）を使って押し付けるように刻んだ文字です。その形が「くさび」に似ていることからそう呼ばれます。王の記録や法典、経済取引など、文明の基盤となる情報がこの文字で記されました。
問5	答え 孔子	孔子は「仁」を最高徳目とし、血縁的な家族の愛情が社会の秩序を保つ基本であると考えました。彼の考えは、政治とは徳を持って行うべきものという理想に結びついていました。
問6	答え 打製石器	打製石器は、石を他の石で打ち砕き、刃や尖った部分を作った道具です。投げ槍の先や、獲物を解体するためのナイフとして使われました。非常にシンプルな作りですが、用途に応じて形が工夫されており、当時の生存のための技術を象徴するものです。
問7	答え パクス=ローマ	地中海沿岸は「ローマの海」と呼ばれるほどになり、安全な通商路が整備されたことで貿易や文化交流が非常に活発になりました。この期間、ローマの法や文化が広範囲に浸透しました。
問8	答え アウグストゥス	アウグストゥスは内乱を収め、元老院から尊厳ある者（アウグストゥス）の称号を受け取りました。形式上は共和政の伝統を残しつつ、実質的な独裁権を握って行政や軍を支配する体制を整えました。
問9	答え 岩宿遺跡	1946年、相沢忠洋が群馬県の岩宿遺跡の崖地で黒曜石の破片（打製石器）を発見しました。その後の本格的な発掘調査により、日本にも明らかに旧石器時代の文化が存在したことが証明されました。この発見は、日本の歴史研究の始まりを大きく遡らせる大発見となりました。
問10	答え モスク	モスクは礼拝を行う場所であり、美しいドームやミナレット（塔）が特徴です。建物内には偶像を置かず、メッカの方角を示す壁のくぼみであるミフラーブが設けられています。
問11	答え 弥生時代	弥生時代には、稲作による集団での農耕作業が社会の基盤となりました。この時期に大陸から伝来した青銅器は、実用品というよりも祭りや儀式で用いる宝器として重要視され、銅鐸などが製作されました。また、武器として鉄器も伝わり、収穫物を巡る争いから集落を守るための環濠集落なども作られました。
問12	答え 漢字	漢字は、意味を表す性質（表意文字）を持つ文字として、長い年月をかけて形状が簡略化され、統一されていきました。秦による中国統一で文字が整理されたことで、広い地域での意思疎通が可能になりました。
問13	答え くさび形文字	柔らかい粘土板の上に、葦の茎などを削って作ったペンで押し付けるように書いていたため、線がくさび（木のくさび）のように見えたことからこの名がつけました。当初は絵文字から発展しましたが、次第に抽象的な符号へと変化しました。
問14	答え 打製石器	打製石器は、黒曜石やサマカイトなどの石を打ち割って鋭い刃を作った道具です。主に動物を狩るための槍の先や、皮をはぐためのナイフとして利用されました。この時代の生活は自然の恵みに頼る不安定なものでしたが、これらの道具が効率的な狩りを可能にしました。
問15	答え 金印	金印は、福岡県の志賀島で発見されたとされる、金で作られた印章です。「漢委奴国王」という文字が刻まれており、当時の倭の王が中国の皇帝から冊封（さくほう）体制の一部として認められた証拠と考えられています。
問16	答え 論語	『論語』は、孔子の言葉や彼と弟子たちの対話を簡潔に記録した書物です。「温故知新」などの有名な言葉も多く含まれており、人間の生き方や理想の政治像が語られています。
問17	答え ヒエログリフ	ヒエログリフは、鳥や人などの形をそのまま写した文字で、神殿の壁や石碑に多く刻まれました。「聖刻文字」とも呼ばれ、特定の神官や書記によって使用される特別なものでした。
問18	答え ヒエログリフ	ヒエログリフは、動物や植物、日常的な道具などを象った絵文字です。主に神殿や墓などの石碑に刻まれるほか、植物の茎を加工した紙であるパピルスにも記されました。神聖な文字として大切に扱われ、当時の社会生活や思想を今日に伝える貴重な資料となっています。
問19	答え ナイル川	ナイル川は毎年決まった時期に定期的な氾濫を繰り返し、そのたびに下流域に肥沃な土壌を運びました。人々はこの恵みを利用して農耕を行い、食料を確保することで高度な文明を築くことができました。
問20	答え ナイル川	ナイル川のこの性質により、川沿いでは古代から安定した農業が営まれました。毎年決まった時期に氾濫するため、人々はいづ種をまき、いつ収穫すべきかを知るための暦を発達させる必要がありました。これにより文明が発展しました。
問21	答え 遊牧民族	遊牧民族は騎馬戦術に長けており、中国の農耕地帯へしばしば侵入しました。これを防ぐために、中国の歴代王朝は長大な防衛壁である万里の長城を建設しました。
問22	答え メッカ	商業活動の中でさまざまな価値観に触れたムハンマドは、メッカでイスラム教を説き始めました。しかし、既存の偶像崇拝を否定したため、有力者から弾圧を受けることとなります。その後、ムハンマドは拠点メディアナへ移して勢力を蓄え、再びメッカを無血開城して聖地と定めました。
問23	答え ヒエログリフ	ヒエログリフは、絵や図形を組み合わせた象形文字です。主に神殿の壁面や墓石に彫られることが多く、聖なる文字として尊重されていました。記録用にはより簡略化された文字も併用されていました。